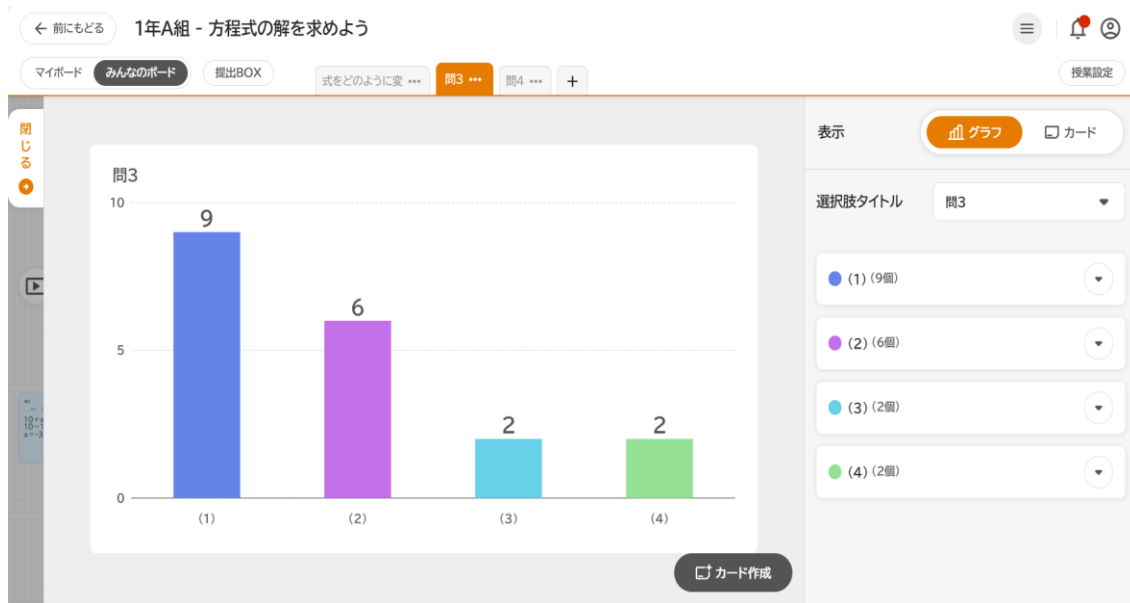


1 学年・数学・方程式とその解

ICTの活用場面

解き方・考え方を共有し、集計機能を使い、「解いてみよう」という意欲を高める。



問の解き方・考え方を共有し、どの問にどれくらいの生徒が共有・解答しているのか見えるようにした。わからない生徒にとっては、手元で考え方が確認できる。また、共有数・解答数の少ない問に対して、共有しよう、解いてみようという意欲を高める。

共有機能でわからなかった問の確認、考え方の共有、集計機能によって解くことの意欲を高めることができた事例である。